

JA 大北の現況 2020上半期

ごあいさつ

平素は、当 JA の事業・運営にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

JA 大北では、組合員・地域に愛され支持される JA であり続けるため、将来を見据え、新たな長期計画を作成し自己改革に取り組み、満足いただける JA を構築すべく事業展開をしております。

本誌は令和2年度上半期の決算内容をお伝えいたしますとともに、当 JA の経営の健全性と自己改革の取組をお知らせし、当 JA に対するご理解を深めて頂ければと思い作成いたしました。

今後も経営方針に依り、更なる健全・堅実経営をめざし、地域社会に貢献できる活動を展開致しますので、今後とも更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

I 財務の状況 (令和2年8月31日現在)

1. 貸借対照表

単位：千円

資産		負債及び純資産	
信用事業資産	121,880,659	信用事業負債	123,532,172
(うち貸倒引当金)	△1,756,781	共済事業負債	667,970
共済事業資産	46,955	経済事業負債	316,767
経済事業資産	1,292,140	雑負債	242,388
(うち貸倒引当金)	△11,607	諸引当金	1,207,821
雑資産	1,081,043	負債合計	125,967,120
(うち貸倒引当金)	△2,888	出資金	3,137,615
固定資産	3,113,927	利益剰余金	3,102,243
外部出資	4,680,039	処分未済持分	△28,467
繰延税金資産	83,969	純資産合計	6,211,615
資産合計	132,178,735	負債及び純資産合計	132,178,735

2. 主な金融事業勘定

単位：千円

	令和2年8月末	令和2年2月末	令和元年8月末
貯 金	123,267,989	125,040,813	122,875,554
貸 出 金	24,999,852	24,968,521	24,812,183
貸倒引当金	1,756,781	1,726,889	1,660,152
預 け 金	96,957,629	99,261,876	96,918,307
有 価 証 券	498,420	—	—

- 皆様よりお預かりしている貯金です。
- 皆様にお借入頂いているローン等です。
- 貸出金の貸倒等に備えての準備金等です。
- 主に長野県信連等へ預け運用しております。
- 運用のため保有している有価証券です。

II 損益計算書 (令和2年3月1日から令和2年8月31日)

単位：千円

事業総利益	1,458,530	事業利益	56,842
うち信用事業総利益	509,996	経常利益	152,934
うち共済事業総利益	381,792	税引前当期利益	151,312
うち農業関連事業総利益	260,498	法人税等合計	15,000
うち生活その他事業総利益	310,786	当期剰余金	136,312
うち営農指導事業総利益	△4,544	期首繰越剰余金	55,461
事業管理費	1,401,687	当期末処分剰余金	191,774

- 事業総利益：各事業利益から各事業費用を差し引いた差額です。
- 事業管理費：人件費・業務費・諸税負担金・施設費等、労働や施設の管理に必要な費用です。
- 事業利益：事業総利益から事業管理費を差し引いた差額です。
- 経常利益：事業利益に賃貸料等の事業外収益を加え、寄付金や雑損失等の事業外費用を差し引いた金額です。
- 税引前当期利益：経常利益に固定資産処分益等の特別利益を加え、固定資産処分損等の特別損失を差し引いた金額です。
- 当期剰余金：すべての収益から費用・法人税等を差し引いた金額です。一般企業での当期純利益に相当します。
- 当期末処分剰余金：当期剰余金に前期繰越剰余金等を加算した金額です。

Ⅲ財務状況や事業に関する開示項目

1. 自己資本比率（国内基準適用）

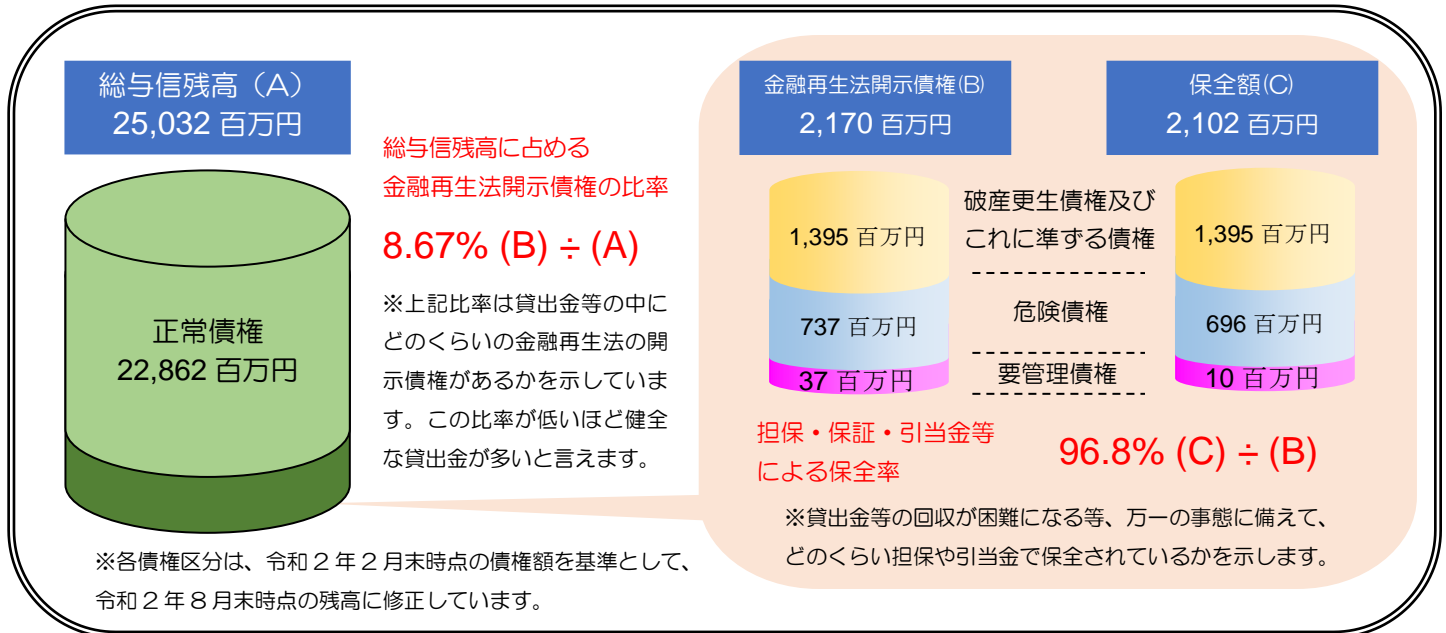
令和2年8月末	令和2年2月末
13.11%	12.49%

■当 JA は国内業務金融機関の基準 4%、JA バンク基本方針の基準 8%を上回っています。

■令和2年8月末の単体自己資本比率は、新 BIS 規制の基準に基づき算出しています。

なお、8月末の単体自己資本比率の算出にあたって、令和2年2月末のオペレーショナル・リスク相当額を使用しております。

2. 金融再生法開示債権の状況（令和2年8月31日現在）



3. 有価証券等時価情報

単位：千円

種類	令和2年8月末			令和2年2月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
売買目的	—	—	—	—	—	—
満期保有目的	—	—	—	—	—	—
その他	498,087	498,420	333	—	—	—
合計	498,087	498,420	333	—	—	—

■令和2年8月末の有価証券の時価は8月末日における市場価格等に基づく時価としています。

■取得価額は償却原価法適用前、減損処理前のものです。

Ⅳ信用事業以外の取扱実績

1. 共済事業

(単位：百万円、件、台)

長期共済		令和2年8月末	令和元年8月末	短期共済新契約高		令和2年8月末	令和元年8月末
生命・建物 更生共済等	新契約高	29,196	26,597	火災共済（保障金額）	14,237	14,873	
	保有契約高	372,485	386,228	傷害共済（保障金額）	22,696	37,221	
年金共済	新契約高	237	285	自動車共済（件数）	7,245	7,274	
	保有契約高	4,940	4,834	自賠償共済（台数）	2,070	2,186	

2.経済事業

(単位：百万円)

販売事業（販売高）	令和2年8月末	令和元年8月末
農産	910	828
畜産	249	232
園芸・特産他	205	208
合計	1,365	1,269

購買事業（供給高）	令和2年8月末	令和元年8月末
生産購買	1,029	1,075
生活購買	113	156
工機燃料購買	1,189	1,465
合計	2,333	2,697

V自己改革へのおもな取り組み状況について

当JAでは、組合員・地域に愛され支持されるJAであり続けるため、将来を見据えた自己改革に取り組んでいます。「自己改革」は、地域農業の繁栄とくらしにJAがなくてはならない組織であることを目指す改革です。組合員・地域とともに一歩先のJAをめざし、下記の取り組みを行ってまいりました。

(1)農業生産基盤の強化による産地の維持

- 農薬散布用ドローンやロボット芝刈り機など、スマート農業関連の技術紹介・試験導入を行いました。
- 農家の農作業支援として、支所やセンター、直売所、ホームページで農作業求人情報を掲載し、求人情報の共有を図りました。また、JA長野県労働力支援センターが運営する農業求人サイトによるマッチングおよび観光地と連携したマッチングを行いました。
- 大町市の農産物直売所「ええっこの里」にて昨年に引き続き、「農ある暮らしサポート直売所」として、営農指導・就農・移住相談対応を行いました。
- 中小規模農家・直売所出荷者などのコスト削減、作業の省力化と利便性を向上させるため、レンタル農機などリース機の推進を図りました。
- 各農作物の時期に応じた、現地での栽培講習会などを管内各地で開催しました。
- 直売所の新規出荷者や重点栽培品目における新規栽培者・栽培面積増反者への苗代の助成、機械等の貸し出しなどを実施し、園芸振興に努めました。
- 農家所得増大のため、水稻春肥の予約注文による価格対応や生産資材購入の一部助成などを行いました。
- 担い手農家のニーズなどに対応するため、農家対策支援室、営農指導員による定期的な訪問活動を行いました。
- インターネット上(ネットショップ・ふるさと納税)での農産物・農産物加工品販売による販売力強化、PRに努めました。



ロボット芝刈り機試験導入



ネットショップでの農産加工品等販売

(2) 組合員とJAのつながり強化

- 次世代を担う子どもたちに農業の大切さを知ってもらうため、JA青壮年部による野菜の提供等を行いました。
- ・JA青壮年部による保育園への野菜提供(8月)
- ※ なお、毎年の保育園児による野菜の定植・収穫体験は新型コロナウイルスの影響で実施できませんでしたので、野菜の提供のみを行いました。
- ・安曇野まつかわ農業小学校による食農教育(松川村)



保育園へ野菜提供 (JA 大北青壮年部)

- 移動購買車により山間地への生活用品・食料品の販売を行い、買い物弱者を無くし、安心して暮らせる地域づくりの貢献に努めました。
令和2年6月末に閉店した「美麻生活店舗」の機能を補完するため、7月より美麻地区での移動購買車巡回を開始しております。
- 移動金融店舗による、出向く体制での、貯金などの金融手続きを継続して行いました。(現在、八坂・美麻・中土・北小谷地区での巡回)
- 准組合員の皆さまに向けて、JA自己改革の情報やJA運営に関する情報などの発信を行いました。また、准組合員の意思反映を目的として、Webでの利用者アンケートを実施しました。

(3) 総合事業を支えるJA経営基盤の確立

- 事業施設再編方針に基づき、事業効率化による収支改善を図るため、施設の整備を行いました。
令和2年6月末に松川村の松川給油所、大町市的美麻生活店舗を閉店しました。なお、美麻の生活店舗機能は、移動購買車の巡回により補完しております。
- 働き方改革への対応、労働生産性の向上、各職員の労働負担を軽減するため、仕事内容、繁忙期対応時の働き方の改善、各施設の営業時間の見直しなどを行いました。
- 不祥事等の未然防止と事務統一による事務の正確性向上のため、適切な職場離脱を実施しました。
- Web会議環境の整備を行い、Web会議への積極的な参加により、管理費の削減につながりました。

本所	大町市大町字光明寺 3091-1	0261-22-1840
社支所	大町市社 1757	0261-62-2054
ときわ支所	大町市常盤 3570-5	0261-22-0209
池田支所	池田町大字池田 4276-2	0261-62-3146
会染支所	池田町大字会染 5098-1	0261-62-3114
松川支所	松川村 7027	0261-62-4108
神城支所	白馬村大字神城 21494	0261-75-2111
白馬支所	白馬村大字北城 6379	0261-72-2010
おたり支所	小谷村大字中小谷丙 50-1	0261-82-2003
大町支所	大町市大町字光明寺 3091-1	0261-22-0204
平支所	大町市平 8940	0261-22-1920



大北農業協同組合

<http://www.ja-daihoku.iijan.or.jp/>